

年頭のご挨拶

公益財団法人 金融情報システムセンター
理事長 稲垣 光隆



令和3年の年頭にあたり、謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

わが国の金融情報システムを取り巻く環境は、年々急速に変化しています。金融業務の高度化や多様化に伴い、金融機関の情報システムはますます複雑化しておりますが、業務遂行上必要不可欠なインフラであるとの認識に立ち、そのあり方について不断の検討と見直しを行うことは、金融機関等の重要な経営課題となっております。また、昨年より新型コロナウイルスの感染が広がる中で、金融機関が必要な業務を可能な限り継続していくためにも、情報システムの活用を図ることが従来にも増して重要になってきています。

当センターは昭和59年の設立以来、金融機関等の情報システムに関する諸問題についての調査研究、問題解決に向けた提言、自主基準である安全対策基準等の策定といった活動を通じて、金融情報システムの発展に寄与して参りました。

最近の取組みとしては、サイバーセキュリティワークショップをオンラインで開催して意見交換・情報共有を図っているほか、ホームページ上でサイバーインシデント情報を発信しております。また、新型コロナウイルス感染拡大を契機とした金融機関等の業務継続に向けた取組みについて調査研究を行い、昨年8月と10月に調査レポートを公表しました。さらに、昨年11月にはAI活用のための人材の確保・育成についての調査レポートを公表しております。今後につきましても、サイバーセキュリティ関連、フィンテックを含む新技術、データ利活用・データ保護等について調査・研究を行い、会員の皆様にはタイムリーな情報を還元していく予定です。

当センターに課せられる役割も引き続き重要性を増してくることと、役職員一同覚悟を新たにし、環境変化に的確に対応した情報の提供、提言内容の一層の充実に努め、会員各位の皆様のご期待に応えてまいり所存ですので、引き続き変わらぬご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

